

2020 年度

《小規模多機能型居宅介護 サービス評価》

サテライト三日市場

事業所自己評価・・・・・・・・・・(事-②③⑨)
総括表

令和3年3月31日
小規模多機能型居宅介護 サテライト三日市場

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 令和 2年12月17日 (14:00~14:30)

2. 「～したい」の実現 (自己実現の尊重)

メンバー 9名

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか?	0人	3人	6人	0人	9人

前回の改善計画
チーム検討の中で、担当の利用者さんの目標の見直しができるように心がける。
前回の改善計画に対する取組み結果
認定調査更新があった利用者さんや、状況が変わって見直しが必要な利用者さんの目標は、チーム検討の中で話げできた。

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	「本人の目標 (ゴール)」がわかっていますか?	0	5	4	0	9
②	本人の当面の目標「～したい」がわかっていますか?	0	6	2	1	9
③	本人の当面の目標「～したい」を目指した日々のかかわりができていますか?	0	5	4	0	9
④	実践した (かかわった) 内容をミーティングで発言し、振り返り、次の対応に活かしていますか?	0	3	5	1	9

できている点
・「～したい」を少しずつ聞き始めた。 ・目標 (ゴール) を知るように意識した。 ・実践した内容を職員会で振り返り、皆で共有している。

できていない点
・あまり状況の変わらない利用者さんだと、目標について意識しなくなる。 (理由) チームの中での話し合いが不足してしまう。

次回までの具体的な改善計画
・職員会で検討したい利用者さんの、目標の読み合わせをし意識する。 ・その日の終わりに、どんな関わりができたか振り返る。

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 令和 2年12月17日 (14:00~14:30)

3. 日常生活の支援

メンバー 9名

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よくできている	なんとかできている	あまりできていない	ほとんどできていない	合計 (総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか?	0人	0人	4人	5人	9人

前回の改善計画	前回の改善計画に対する取組み結果
センター方式B-3(暮らし情報)シートを利用して家族・本人から情報を集め、職員会にて発表する。	センター方式の(暮らしの情報)と同じようなライフサポートプランの24時間シートを活用して、本人や家族から集めた情報を記入するようにした。

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よくできている	なんとかできている	あまりできていない	ほとんどできていない	合計 (総人数)
①	本人の自宅での生活環境を理解するために「以前の暮らし方」が10個以上把握できていますか?	0	6	2	1	9
②	本人の状況に合わせた食事や入浴、排せつ等の基礎的な介護ができていますか?	0	8	1	0	9
③	ミーティングにおいて、本人の声にならない声をチームで言語化できていますか?	0	4	4	1	9
④	本人の気持ちや体調の変化に気づいたとき、その都度共有していますか?	1	5	3	0	9
⑤	共有された本人の気持ちや体調の変化に即時的に支援できていますか?	1	0	8	0	9

できている点
・体調の変化などに気づいた時は、情報を共有している。 ・自宅での以前の暮らし方やアセスメントを職員会で読むことで、意識することができるようになった。

できていない点
・本人の声にならない声を知ろうとしない人がいた。 (理由)一人ひとりが知ろうとしていない。

次回までの具体的な改善計画
・24時間シートを全員分作り、見直しを意識し記入していく。 ・チーム検討時に本人のできる事とできない事を確認していく。

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 令和3年12月17日(14:00~14:30)

9. 人権・プライバシー

メンバー 9名

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計(総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか?	1人	6人	2人	0人	9人

前回の改善計画
気づきや排泄のことなどはバイタル帳に記入し、利用者さんのいるところで話さないように意識をする。
前回の改善計画に対する取組み結果
排泄についてバイタル帳に記入でき、固有名詞を出して言わないように意識ができた。

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計(総人数)
①	身体拘束をしていない	7	2	0	0	9
②	虐待は行われていない	8	1	0	0	9
③	プライバシーが守られている	2	7	0	0	9
④	必要な方に成年後見制度を活用している	1	4	1	3	9
⑤	適正な個人情報の管理ができている	1	7	1	0	9

できている点
身体拘束・虐待等していない。 声に出して言うのではなく、バイタル帳への記入ができている。

できていない点
昼休み中は利用者さんのことを職員同士で話してしまう。 (理由)意識が薄れてしまう。

次回までの具体的な改善計画
大きな声で話さないように、常に利用者さんが周りであることを意識する。皆で注意し合う。 トイレ内に排泄の表を作る。

小規模多機能型居宅介護「サービス評価」 総括表

法人名	特定非営利活動法人 おいなんよ	代表者	佐藤 敏子	法人・ 事業所 の特徴	事業所のある場所は田んぼや畑に囲まれており、四季折々の南アルプスを眺める事ができます。全員でご飯を作る日を決め、手も口も動かしながら作るご飯は格別です。活動的なご利用者が多く、日々賑やかに過ぎてゆきます。独居の方も多く、自宅で暮らすのに必要なことを相談し、チームで支援しています。
事業所名	小規模多機能型居宅介護 サテライト三日市場	管理者	上田 千代里		

出席者	市町村職員	知見を有するもの	地域住民・地域団体	利用者	利用者家族	地域包括支援センター	近隣事業所	事業所職員	その他	合計
	人	1人	3人	2人	1人	1人	0人	3人	0人	11人

項目	前回の改善計画	前回の改善計画に対する取組み・結果	意見	今回の改善計画
A. 事業所自己評価の確認	外部評価の項目の、2「～したい」の実現と、3「以前の暮らし方」について一年かけて、職員全員で確認していく。	毎月の職員会で登録者全員分の確認ができた。	事業所の自己評価には職員全員で取り組んでいることが確認できた。	外部評価の項目、1「初期支援」5「多機能性ある柔軟な取り組み」8「質を向上するための取り組み」を全員で確認する。
B. 事業所のしつらえ・環境	看板の完成は計画に入れるが、少し離れたお借りした畑や、利用者さんにも見える所で野菜の収穫をする。	看板は作れたが、駐車場が変更になるため、取り付けるのは4月になる。庭のプランターで野菜の収穫ができた。	入り口がわかりづらいので工夫が必要ではないか。	野菜作りの続行。 庭、室内の整理整頓の励行。
C. 事業所と地域のかかわり	事業所の周りを歩いたり、近くの運動公園の散歩に行き、挨拶に心がける。	個別に近所に散歩に出かけることはできた。コロナで近くの運動公園もほとんど行くことができなかった。	住宅地でもないので、事業所のことがあまり知られていないと思う。	おいなんよ通信を、近くの病院・図書館・公民館に配布。 組合の行事には職員が交代で参加。
D. 地域に出向いて本人の暮らしを支える取組み	利用者さんが今まで利用していた地域の資源とのつながりを切らないような支援をしていく。	行きつけの美容院は続けて利用したり、訪問美容に切り替えた方もいた。	民生委員さんにより、訪問の仕方が違うと思う。	本人の環境を理解する。 支えている人々と相談したり、情報交換をする。
E. 運営推進会議を活かした取組み	地域包括や民生委員の意見もお聞きしながら、事業所の事例や取り組みなども一緒に検討していく。	今回は検討できる事例など上げられなかった。	運営推進会議に参加する回数が増えていくと、徐々に事業所の取り組みがわかってきた。	会議後には運営推進委員の皆さんに室内を覗いていただき、利用者さんとお茶をしたりお話をさせて頂く。
F. 事業所の防災・災害対策	年に一回備蓄品の確認をする。 事業所の避難訓練に参加していただく。	事業所の避難訓練に運営推進委員の方にも参加していただいた。 備蓄品の確認ができ、足りないもの等購入した。	地区の防災訓練に参加していることを知った。実際の災害の時には、自分たちを守ることで精一杯ではないか。	防災備蓄品の補充・点検を年に一回は行う。事業所の避難訓練に参加していただく。

